



金、資、(B) 第一五號

南方各國ノ貿易決濟方法ノ大要

蘭 佛 泰
印 印

(昭和十六年十一月)

財團
世界經濟調查會
金融研究部



南方各國ノ貿易決濟方法ノ大要

一、泰 國

泰國經濟ハ米ノ生産ニ依存シ貿易外國際收支ノ如キモ支拂勘定ノミ
 ニシテ目星シキ收入ナク米ニ倚頼スル貿易出超尻ニヨリ賄ハレ居レ
 リ、貿易額ハ一九三〇年ノ世界恐慌前ハ四千萬磅見當ナリシカ一九
 三三年ニハ二千萬磅ニ半減、一九三九年ニハ三千七百萬磅ニ回復、
 國際收支尻ハ常ニ受取超過ヲ示シ居レリ、貿易ノ相手國ハ新嘉坡、
 英領馬來、日本、英本國、蘭印、支那等ニシテ自然磅決濟多キカ我
 國トノ貿易決濟ハ從來大部分圓ニ依リタリ、貿易決濟資金ハ主トシ
 テ倫敦ニ常置シ右資金ハ佛曆二四七五年改正通貨條例第六條ニ依リ
 パート貨ノ法定準備ニ充當セラレ居レリ、爲替銀行ハ香上、チャイ
 タード、印度支那、正金銀行等外國銀行支店ニシテ爲替相場ノ基準
 ハ一磅ニ付十一パルトナリ、政府公定ノ磅相場ハ通貨條例第十一條
 ニ基ク告示ハ賣相場十一パルト二十サタン、買相場十パルト八十
 サタンナリ

一九四〇年十一月末日

紙幣流通高
準備

二二八、七二五
二二九、三〇五
千バート

内譯

金 準備

九七、二七九

磅 證 券

四〇、八九八

銀行預ケ金

八五、八一四

バート銀貨

一、一六九

其ノ他

四、一四四

二、佛 印

佛印經濟ノ中心ハ米ニシテ一九三九年中輸出額ハ三千五百四十萬弗ニ上リ總輸出額八千九百二十萬弗ノ四〇%ヲ占メ居レリ
輸出ノ相手國ハ總額ノ約三分ノ一カ佛本國分ニシテ、米國向ハ約一
二%ニ當リ第二位ヲ占ム、尤モ香港向輸出ヲ支那向輸出ニ加算スル
トキハ支那カ第二位トナル、對米輸出ノ大部分ハゴムニシテ佛印ゴ
ム輸出ノ四二%ヲ占ム、對日輸出ハ四百十萬弗ニシテ主トシテ米、
石炭、玉蜀黍、マンガン、鐵鑛ナリ
輸入ハ佛本國カ大半ヲ支配シ一九三九年中佛印輸入額六千四十萬弗

ノ約五六%ハ佛本國ヨリ輸入セラレタリ、(本國並ニ殖民地産品ハ
 従前無税ナリシカ昨年十月ニ至リ完全ナル關稅自主權ヲ獲得、本年
 一月ヨリハ本國並ニ殖民地産品ニモ課税スルニ至レリ、但シ稅率ハ
 最低稅率。本邦産品ハ右ト同様最低稅率ノ適用ヲ受クルコトナレ
 リ)

以上貿易ノ決濟ニ付テハ一九三九年十月一日實施ノ外國爲替管理ノ
 適用ヲ受ケ外貨ノ賣買ハ直接又ハ承認銀行ノ仲介ニ依リ爲替局ニ對
 シテノミ之ヲ行フコトヲ要シ(爲替局ノ運営ト爲替統制トハ印度支
 那銀行ニ行ハシム)一般ノ者ノ銀行ニ對スル外貨ノ賣買ハ許可制ト
 シ、外貨ヲ入手シタル銀行ハ之ヲ直ニ爲替局ニ讓渡スルヲ要シ、爲
 替集中制ヲ實施シ居レリ、輸出入決濟ノ統制ハ爲替局力之ヲ行ヒ、
 輸出入ノ統制ハ通商局之ニ當ル、本邦トノ貿易決濟、就中本邦輸出
 ニ付テハ從來殆ント全部圓決濟、輸入ノ一部ニ付磅貨等外貨決濟ノ
 モノアリシカ本年七月五日正金、印度支那銀行間協定成立後ハ取引
 ハ總テ圓建トシ兩行ノ特別勘定ヲ通シ決濟ノコトトナレリ

爲替相場ハ一九三〇年以降引續キ一ピアストルニ付十法ヲ基準トシ
 對外決濟ハ巴里、倫敦、紐育中心ニ之ヲ行ヒ、之カ爲メ倫敦及紐育
 ニハ一九三九年九月末現在二億六千七百萬ピアストルノ資金ヲ存置

シ層タリシカ、今次戦争勃發後佛本國カ法ノ安定ノ爲メニ印度支那
 銀行保有在外磅、弗資金ヲ法紙幣ト交換ノ上引上クル等ノ措置ヲ採
 リタル爲メ佛本國トノ交通不圓滑旁々事實上法トノ連繫ヲ絶チ米弗
 ニリンクスルコトナリ一九三九年十二月以降米弗一弗ニ付四ピア
 ストル四一スウチ基準トスルニ至レリ、爲替銀行トシテハ印度支那
 銀行ノ外佛支銀行、香上、チャイタード、支那系銀行（四行）等ア
 リ、佛印内ニハ短資市場ナク爲替銀行ノピアストル資金調達ハ爲替
 局ニ對スル外貨ノ賣上、預金ノ吸收、貸付銀行又ハ發券銀行ヨリノ
 融資等エヨルノ外巴里、倫敦ノ本店ヲ通シ本店所在地ニテ短資ヲ取
 入レ之ヲ印度支那銀行ヲ通シピアストル貨ニ轉換スルノ方法ニ依リ
 來レリ、又ピアストル資金ノ餘剰ヲ生シ印度支那ニ於ケル短期投資
 ニ窮スル場合エハ印度支那銀行ヲ仲介トシ外國大市場ニ遊資ヲ移轉
 スル方法ニ依リタリ

三、蘭 印

一九三九年中輸出七億四千萬盾、輸入四億六千九百萬盾、差引出超
 二億七千百萬盾ヲ示セリ
 主要輸出品ハ熱帶性農産ト礦産物ニシテ、主要輸入品ハ綿織物、食
 料品、鋼鐵製品、機械等ナリ

主要相手國ハ輸出ニ於テハ米、新嘉坡、和蘭本國、濠洲、英國、日本等、輸入ニ於テハ和蘭本國、日本、米國、獨逸、新嘉坡、英國等ナリ

以上ノ如ク和蘭本國、英、米トノ關係密接ナルヲ以テ世界金融市場トノ結ヒ付キモアムステルダム及倫敦トハ從來特ニ密接ニシテ近年ハ紐育トモ相當緊密トナリタリ、東洋ニ於テハ新嘉坡トノ關係最深シ、爪哇銀行ハ爲替資金ヲ主トシテアムステルダム及倫敦ニ存置シ之ヲ以テ對本國又ハ其他ノ對外支拂ニ充當スルト共ニ之等在外正貨ヲ正貨準備ノ一部ニ充當シ居レリ、即チ蘭印貿易ハ出超ヲ常態トシ殊ニ其ノ輸出代金ハ主トシテ倫敦金融市場ニ於テ決済セラルル爲メ自然受取代金ノ一部ハ英蘭銀行其他五大銀行等ニ預金セラルルコトトナルヲ以テ之ヲ準備ニ繰入レルモノナリ、爲替銀行トシテハ爪哇銀行ノ外、和蘭貿易會社、蘭印商業銀行、蘭印割引銀行等カルチユアーバンクニシテ一般爲替業務ヲモ取扱フ和蘭系銀行及香上、チヤイタード、正金、臺灣、三井、華南、華僑、中國、黃仲涵銀行等英、日、支銀行支店アリ、其ノ盾資金調達方法ハ和蘭系銀行ニ在リテハ預金吸收ノ外和蘭、新嘉坡、香港向等賣爲替ニ依ルモノニシテ蘭印貿易會社ノ如キハ本國ヨリノ金銀貨輸入ヲ取扱ヒ居レル關係上

金繰上多大ノ便益アリ概シテ資金ハ潤澤ナリ、外國系銀行ハ倫敦、新嘉坡、香港、上海各地向賣爲替ニ依リ買爲替資金ヲ調達シ不足ノ際ハ爪哇銀行ヨリ借入ヲ爲シ居レリ

金融ノ季節的繁閑ハスマラン、スラバヤ方面ニ在リテハ製糖期特ニ五月ヨリ九月迄ヲ繁忙期トシバタピア方面ニ在リテハ茶、米ノ關係ヨリ五月ヨリ十月迄ヲ繁忙期トス、而シテ金融繁忙期タル輸出物產出廻期ニハ外國系銀行カ歐洲市場ヨリ資金取寄ノ爲メ倫敦又ハアムステルダム向爲替ヲ賣却スルヲ以テ盾爲替ハ強調ヲ呈シ緩慢期ニハ爲替銀行ノ餘剩資金ノ歐洲向回金ニヨリ盾爲替軟調ヲ呈スルヲ常態トス、爲替業務ノ外、農園ノ經營、農產物ノ委託販賣等ヲモ兼營セル和蘭系銀行ニ在リテハ輸出手形買取時期ハ恰モ農園貸出金ノ回收預金ノ増加時期ニ當レル爲メ右ニ依リ入手セル資金ヲ以テ輸出手形ヲ買入レ更ニ外國銀行ヨリ歐洲向電信爲替ノ買入ヲ行ヒ盾資金ヲ供給シ居レリ、輸出手形ノ表示ハ從來何レノ國ノ通貨ニ依ルモ自由ナリシカ永年ノ慣習トシテ歐洲向ハ盾又ハ磅建多カリキ、昨年五月以降ハ對スタールリングブロッツク貿易ハ磅、其他ハ大體弗決濟ニ依ルヲ要スルコトトナレリ

我國トノ貿易ハ從來輸出入共殆ント全部圓建ニシテ本年一月一日正

金、爪哇銀行間金融協定實施後モ原則トシテ圓決濟ニ統一シ兩行ノ
 特別勘定ヲ通シ決濟ノ仕組ナリシカ、蘭印ノ對日資産凍結ニ依リ該
 協定ノ運用ニ支障ヲ來シ本年八月九日ヲ以テ協定ハ自然消滅ノコト
 トナレリ
 爲替相場ハ昨年七月八日以降對米現物一八八盾半、對英七盾六十仙
 ベトシスト定メラレ、銀行間取引ハ禁止、爲替資金局ニ對シテノミ
 右公定相場ヲ以テ取引ヲ認メラルルコトトナレリ、即チ外國爲替ノ
 集中制ヲ實施シ居レリ